

夏休みは学習センターで自由研究を探そう!!

化石、岩石、防災、生物などテーマはいろいろ

男鹿市ジオパーク学習センターで、夏休みの自由研究のテーマを考える子どもたちが増えています。ある小学生は男鹿半島で見つけた貝化石をテーマにして学習センターで調べてまとめていました。また夏休み期間には学習センターを会場



岩石標本づくり教室の様子

に岩石や防災に関する教室なども行われています。男鹿半島・大潟ジオパークには様々なジオサイトがあります。書籍だけでなくジオサイトでの地層などの観察と合わせると自由研究に幅が広がります。今年の夏休み、皆さんも自由研究に男鹿市ジオパーク学習センターを訪れてみては。

海外の高校生らがジオパーク学習センターで学ぶ

広がる国際交流の場



7月にジオパーク学習センターを訪れたのは、ソウル高校約40人。高校生国外派遣交流で訪れたもので、学習センターで男鹿半島がどのようにして形成されたのかなどについて学びました。日本列島が大陸にあったころの岩石を使った男鹿の石焼料理には皆、びっくり。また男鹿のゴジラ岩と韓国済州島の龍頭岩の形が似ていることや朝鮮半島にある白頭山の火山灰が男鹿半島に飛来していることにも熱い目を向けていました。その後、液状化現象の実験など地震発生時の体験学習を行い、最後に全員でジオパーク学習センターの看板をバックに記念写真を撮りました。

「化石は語る」写真展示中

学習センターでは、男鹿半島の主な化石の写真を展示中。男鹿半島のジオサイトで見る事ができる主な化石類を写真で見ることができます。スカシカシパンウニ（西黒沢海岸）、魚の背骨（鵜ノ崎海岸）、動物の生痕化石（潮瀬崎）、オパキユリナ（西黒沢海岸）など。化石からは当時の環境をいろいろ推測できます。ほかにも男鹿半島のジオサイトでは様々な化石を観察できます。



様々な体験学習を用意

ジオパーク学習センターでは、ジオパークを生かした理科教育や防災学習用に様々な体験学習を用意しています。火山の噴火実験や地震の際の液状化現象、岩石観察など学習時間や目的、希望に合わせて対応しています。